

第 3 回市民環境講座を開催



平成 25 年 11 月 30 日（土）流山市生涯学習センター（体育館）で、第 3 回市民環境講座を開催しました。内容は講演と展示会です。講演テーマは「もうそこまで来ているスマートライフ」で、講師は（株）住環境計画研究所 会長 中上 英俊さんをお願いしました。講演と同時に展示会も同体育館で開催しました。

講演では 5 つの話題をわかりやすく説明いただいた。①なぜ家庭部門のエネルギー消費量は増加したのか ②依然として増加が続いているエネルギー消費量の現状は ③家庭用エネルギーの国際比較 ④省エネルギーの期待 ⑤スマート化の期待でした。

最後まで聞いていて感じたことは、省エネルギーは小さいことの積み重ねが重要という当たり前のことが大事です。省エネ意識とエネルギー消費のデータを示され、一般世帯平均を 1 として省エネ世帯は 0.79、多消費世帯は 1.31 と大きな開きがあることがわかりました。私たち消費者が主役、私たち消費者がスマートにならなくては省エネが進まないということも理解しました。省エネというと我慢の節約という理解の方が多いのですが、私たちは無駄をなくす、エネルギーの効率利用を展示ブースでお

示しました。展示会は 6 つのブースでスマートライフの提案を行いました。

エコ情報ブース（写真下）では、



3 つの考えを提案しました。

- ①一人一人が創る低炭素な街づくり
- ②エコと快適性を両立させる生活
- ③光熱費ゼロ住宅実現の目標づくりを！です。

私たちを取り巻く環境は地球温暖化、異常気象が多発。中でも猛暑・豪雨・台風が多発が目立ちました。フィリッピンを襲ったスーパー台風は他人事とは思えません。一方エネルギーの高騰、海の幸・陸の幸の値上がり、獲れるところで獲れなくなっている。思い起こせば海では、さんま・サケの不漁、ある農業従事者が新聞の投書に「天候不順に悩まされたわが畑、ジャガイモは大半がピンポン玉の大きさ、トウモロコシは粒が満足につかず、枝豆はひとつのさやに 1～2 粒といった具合、こんなに天気がひどく不作の年は初めて」との嘆きです。これも地球温暖化の影響でしょうか恐ろしいことです。豊かな自然の恵みで人間は生きているが、この豊かな自然の恵みが崩れて来ています。豊かな自然を取り戻すには、前述の 3 つの考えが思いだされます。私たちは豊かで快適な利便性の良い生活がある程度手にいれました。しかしそれに伴うエコ・環境行動はまだ

十分ではないようです。環境行動を引き上げて快適性と両立させる生活をスマートライフと名付け、私たちは提案しています。

住宅ブース（写真下）では、



「光熱費ゼロ住宅の目標づくり」を提案しています。平均世帯の年間光熱費は約 22 万円、多いところでは 30 万円、これを毎年毎年は払い続けますか？ 10 年スパンで考えると 220 万円から 300 万円の支払いと多額になります。この一部をエコ投資に向けて光熱費がゼロまたはゼロ以下になった事例など紹介しています。住宅は窓からの熱の出入りが高く、これをいかに少なくするかの提案、断熱材での工夫、DIYで作る二重窓を展示しました。北の窓からの提案は大きな反響がありました。

家電ブースでは、トップランナー制度により、家電製品の消費電力が灯や白熱電球との消費電力の違いをワットチェッカーで表示し納得いただきました。ハードの消費電力削減 10 年前の製品に比べ半分になっています。LED照明のシーリング型、管球型、電球型を展示し、蛍光、ソフトの使い方での消費電力削減を提案しています。

太陽光ブース（写真下）では、



太陽熱利用、太陽熱温水器を見直そうや太陽光発電は固定価格買い取り制度で有利な提案などしました。

ガスブースでは、

家庭のエネルギーは給湯、暖房で 50%を超えています。私たちはエネルギーがないと生きていけません。化石燃料からのエネルギーでなく、燃料転換を図り、燃料電池（エネファーム）によりCO₂排出のないエネルギー使用により豊かな自然を取り戻し幸福な生活を目指す提案を行いました。

自動車ブースでは、

スマートムーブを紹介しました。自動車からのCO₂排出量は30%はマイカーなどの移動に伴う排出が占めています。スマートムーブ、移動をエコに！を提案しました。移動にはマイカーから公共交通機関を利用したり、徒歩・自転車を見直そう！などで削減効果が見込めます。カーシェアリングや電動アシスト付自転車を「旅チャリ」も勧めました。



（写真上）はエコドライブシュミレーター体験機です。入場者にエコドライブ体験に挑戦いただきました。燃費向上につながるシュミレーションは人気がありました。そのほか進化するエコカーの燃費グラフなど示しCO₂削減に向けて一躍かいました。

6つの展示ブースは日ごろ関心あるテーマがわかりやすく展示されていたと良い評判でした。私たち消費者があらゆる生活シーンでスマートライフを目指すことが、低炭素な街づくり・流山にかかせないと思います。皆様方と一緒に異常気象を止めるために今回の講演・展示会がお役に立てばうれしく思います。

（馬渡 敏隆）

「NPO見本市」に参加

平成 25 年 11 月 10 日（日）流山市市民活動推進センターが主催した、NPO見本市（生きがいくり 地域デビュー 出会いパーティ）に参加し、当会のPRと会員募集をしました。（奥田 征男）



西初石小学校で出前環境講座

平成 25 年 11 月 16 日（土）、西初石小学校PTAが主催するバザー（同校校庭）で、出前環境講座を開催しました。（板倉 正）



人力発電機に挑戦する小学生。自力発電で30W+60Wランプが点灯。電気の大切さを体験する

まちなか森プロジェクトに参加

平成 25 年 9 月 23 日「新東谷防災広場（166 本）」を第 1 回目とし「まちなか森づくりプロジェクト」が開始されました。当会は“まちなか森づくりサポート委員会”の一員として協賛しています。

世界的な森づくりの第一人者である横浜国立大学名誉教授・森脇昭先生をお招きして「下花輪福祉会館（3,779 本）」（9 月 29 日）、「鱈ヶ崎小学校（996 本）」（10 月 15 日）、「クリーンセンター（2,712 本）」（11 月 4 日）で植樹祭が実施されました。「南流山中学校（2,085 本）」は平成 26 年 2 月 28 日の予定です。（春田育男）



下花輪福祉会館（ほっとプラザ下花輪）の植樹祭
左から、古井、高橋、下田、奥田、春田、笠原

省エネ市民会議を開催

<9月度> 平成 25 年 9 月 20 日

・カーボンオフセットとは

山田殖保 講師：柏SOS代表

・柏市のカーボンオフセット事業について

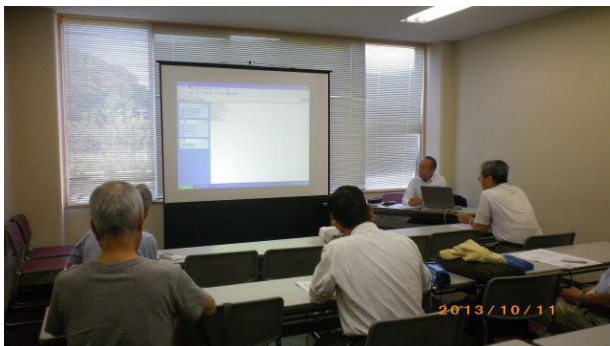
松木義也 講師：かしわ街エコ推進協議会理事



<10月度> 平成 25 年 10 月 11 日

・家庭の明かりについて

菅原英雄 講師：省エネルギーコンサルタント



<11月度> 平成 25 年 11 月 22 日

・クルマについて考える

春田育男 講師：OBN会員



<12月度> 平成 25 年 12 月 13 日

・PPS（特定規模電気事業者）について

五郎丸 章裕 講師：株式会社エネット

第4回市民環境講座のお知らせ

本年度最後の市民環境講座を開催します。
より多くの方々のご来場をお待ちしております。
(塩幡 一二)

「宇宙から見た地球の温暖化」

- 1, 日時＝平成26年3月2日（日）
13：30～16：00
- 2, 会場＝流山市生涯学習センター
多目的ホール
- 3, 内容＝映像&講演
 - a：「宇宙から見た地球の今」
講師：伊藤徳政（JAXA マネージャー）
 - b：「若田宇宙士飛行士の宇宙実験」
講師：山口孝夫（JAXA マネージャー）
 - c：宇宙クイズ
 - d：JAXA パネル展示、宇宙服記念撮影会
- 4, 備考＝定員 150 名（入場無料・申込不要）

編集後記

市内の街路樹、今年の紅葉は、ことのほか美しかった。この冬は、ちょっと心配の年末を迎えようとしている。そんな中、当会に「平成 25 年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰」のニュースが飛び込んできた。12 月 4 日、表彰式行われた。私たちの地道な活動が認められたのかなど、正直うれしい！ 関係団体のご支援に、感謝である。（詳しくは次号、平成 26 年 1 月発行の特集号にて）

この秋、国連気候変動枠組み条約締結国会議（COP19）がポーランドで開催された。この会議の直前、フィリピンを巨大台風が襲った。この国の代表は、気候の温暖化によりこんなスーパー台風が起こると演説。大きな反響を呼んだ。そして、ようやく先進国と途上国が歩み寄り、11月22日閉会となった。日本は05年比、3.8%削減を表明した。かけがいのない、美しい地球を守ること。今を生きる私たちにとって重要な義務である。（石垣幸子）